



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月8日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 吉本 清志 (TEL) 03 (5962) 1119
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	51,446	7.1	2,507	10.2	2,629	15.6	1,531	41.3
26年2月期第2四半期	48,027	6.3	2,274	657.0	2,275	502.1	1,083	—

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 1,622百万円 (22.2%) 26年2月期第2四半期 1,327百万円 (697.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	27.53	—
26年2月期第2四半期	19.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	55,391	28,192	50.9	506.75
26年2月期	59,477	27,459	46.2	493.59

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 28,192百万円 26年2月期 27,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	16.00	16.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2 26年2月期年間配当金の内訳 普通配当14円00銭 特別配当2円00銭

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	6.7	5,000	15.9	5,200	18.7	3,200	73.4	57.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	59,948,294株	26年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	4,315,752株	26年2月期	4,315,752株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	55,632,542株	26年2月期2Q	55,834,339株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	13
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注高および売上高の状況	13
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注高および売上高の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	48,027	51,446	3,418	7.1
営業利益	2,274	2,507	232	10.2
経常利益	2,275	2,629	354	15.6
四半期純利益	1,083	1,531	448	41.3

当第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年8月31日）におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、緩やかな回復傾向にありましたが、海外景気の下振れリスクのほか、国内においても個人消費などの改善に力強さが感じられず、依然として先行き不透明な状況が継続いたしました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、原材料価格の上昇懸念など先行きの不透明感は拭えないものの、商業施設を中心とした新装・改装需要は比較的堅調に推移しており、緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、お客様の視点に立ってお客様の事業繁栄を実現する「プロスペリティ・パートナー」への進化を追求するとともに、新中期経営計画（平成27年2月期～平成29年2月期）に則り、「ナンバーワンの価値の連鎖」をテーマに、お客様への提供価値の向上を目指してまいりました。

当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高が514億46百万円（前年同期比7.1%増）と堅調に推移するとともに、利益面におきましては、売上高の増加に加え、採算を重視した受注の徹底などが寄与し、営業利益25億7百万円（前年同期比10.2%増）、経常利益26億29百万円（前年同期比15.6%増）、四半期純利益15億31百万円（前年同期比41.3%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

なお、当社は本年3月、㈱乃村リテールアセットマネジメントの全株式を譲渡したため、同社を当社の連結の範囲から除外しております。これにともない、当社セグメントは、ディスプレイ事業および飲食・物販事業となっております。

①ディスプレイ事業

雇用・所得環境の改善により個人消費の回復が見込まれるなか、モバイル関連店舗の什器製作やアパレル関連店舗の出店や改装などにより専門店市場が堅調に推移いたしました。また、文化施設を多数手掛けた博物館市場のほか、オフィスの環境演出等を手掛けたその他市場においても順調に売上が伸びました。

この結果、ディスプレイ事業の売上高は501億99百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益23億48百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

（単位：百万円）

概要		売上高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	モバイル関連店舗の什器製作 やアパレル、金融機関の店舗 内装制作等	20,758	21,912	1,153	5.6
百貨店・量販店市場	首都圏や地方都市の百貨店に おけるリニューアル等	3,062	3,180	117	3.9
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	駅周辺や空港内における商 業施設の新装や改装、空間 演出等	4,479	3,902	△576	△12.9
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セール スプロモーション、C I等)	電機メーカーや住宅関連企業 のショールーム、各種展示会 等	7,201	7,466	265	3.7
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	歴史や環境に関する文化施設 のリニューアル、指定管理者 制度 ^(注) にもとづく施設の管 理・運営等	3,107	3,969	861	27.7
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施 設、アミューズメント施設、エンターテ イメント施設、動物園、水族館等)	ホテルやアミューズメント施 設の新装や改装等	4,319	4,310	△9	△0.2
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイ ベント等	348	278	△69	△19.9
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、ブライダル施設、サ イン、モニュメント等)	オフィスやブライダル施設の 環境演出、富裕層向けの邸宅 等	3,406	5,179	1,773	52.1
ディスプレイ事業		46,682	50,199	3,516	7.5

(注) 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されている。

②飲食・物販事業

「江戸東京博物館ミュージアムショップ」（東京都墨田区）や「名古屋科学館ミュージアムカフェ&レストラン（愛知県名古屋市）などの既存店舗の他、昨年12月、羽生パーキングエリア「鬼平江戸処」（東北自動車道／埼玉県羽生市）内にオープンした飲食、物販の各店舗運営などを手掛け、売上高は12億47百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は1億95百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は553億91百万円（前連結会計年度末比40億85百万円減）、負債は271億99百万円（前連結会計年度末比48億17百万円減）、純資産は281億92百万円（前連結会計年度末比7億32百万円増）となりました。

総資産は、債権の回収が順調に進みましたが、仕入債務の支払いがあり減少しております。㈱乃村リテールアセットマネジメントの株式譲渡にともない同社が保有していた土地および建物等の固定資産が減少し、売却による収入のため現金及び預金が増加したことにより流動資産は増加しております。

負債は、期末月の仕入減少により、支払手形及び買掛金が大幅に減少したことや、事業構造改革費用引当金の取り崩し等があり、減少しております。

純資産は、配当金の支払いがありましたが、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.2%から50.9%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて67億86百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は158億68百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、業績賞与の支払いや税金納付等がありましたが、消費税の還付等があり、31億63百万円の収入となりました。前年同期との比較では、工事関係の収支改善による増および消費税還付等により、収入に転じております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、グループ会社の基幹システム購入等の設備投資がありましたが、㈱乃村リテールアセットマネジメント売却による収入があり、45億36百万円の収入となりました。前年同期との比較では、子会社株式の譲渡による収入があったため、支出から収入に転じております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、当期においては海外子会社の借入実行がありましたが、特別配当含む配当金の支払いがあり、9億2百万円の支出となりました。前年同期との比較では、前期においては当期に比べ配当（6円増配）が少なかったことや、借入金の返済等がなかったことにより、支出が2億70百万円増加しております。

（3）連結業績などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成26年4月8日に公表しました通期連結業績予想を修正しております。

平成27年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	103,000	4,700	4,800	2,800	50.33
今回修正予想（B）	105,000	5,000	5,200	3,200	57.52
増 減 額（B－A）	2,000	300	400	400	—
増 減 率（%）	1.9	6.4	8.3	14.3	—
（ご参考：前期実績） （平成26年2月期）	98,410	4,313	4,381	1,845	33.09

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当しておりませんが、以下の異動が発生しております。

- ①㈱乃村リテールアセットマネジメントの所有株式を全て譲渡したことにより同社を当社の連結子会社から除外しております。
- ②㈱六耀社の全株式を取得したことにより同社を当社の連結子会社にしております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,181	15,868
受取手形及び売掛金	16,327	12,767
たな卸資産	8,652	7,937
繰延税金資産	1,508	1,138
その他	1,848	1,481
貸倒引当金	△29	△24
流動資産合計	37,488	39,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,252	9,971
土地	9,757	5,529
その他	1,748	1,793
減価償却累計額	△6,921	△6,552
有形固定資産合計	16,837	10,740
無形固定資産	874	1,300
投資その他の資産		
投資有価証券	2,763	2,965
その他	1,870	1,580
貸倒引当金	△357	△365
投資その他の資産合計	4,277	4,181
固定資産合計	21,989	16,222
資産合計	59,477	55,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,584	13,494
短期借入金	208	252
未払法人税等	1,307	1,129
前受金	3,620	3,926
賞与引当金	813	1,116
工事損失引当金	86	42
事業構造改革費用引当金	895	—
その他の引当金	85	101
その他	2,842	1,885
流動負債合計	26,443	21,950
固定負債		
退職給付引当金	3,764	3,921
その他の引当金	83	96
その他	1,725	1,232
固定負債合計	5,573	5,249
負債合計	32,017	27,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	14,326	14,968
自己株式	△1,091	△1,091
株主資本合計	26,594	27,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	359
土地再評価差額金	482	482
為替換算調整勘定	148	113
その他の包括利益累計額合計	865	955
純資産合計	27,459	28,192
負債純資産合計	59,477	55,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	48,027	51,446
売上原価	40,351	43,304
売上総利益	7,676	8,142
販売費及び一般管理費	5,401	5,634
営業利益	2,274	2,507
営業外収益		
受取利息	5	16
受取配当金	16	18
仕入割引	42	43
その他	35	50
営業外収益合計	99	128
営業外費用		
支払利息	0	6
為替差損	4	—
投資不動産管理費用	1	—
関係会社貸倒引当金繰入額	90	—
その他	2	0
営業外費用合計	98	6
経常利益	2,275	2,629
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	149	—
ゴルフ会員権償還益	—	28
特別利益合計	149	30
特別損失		
固定資産除売却損	20	4
減損損失	490	—
投資有価証券評価損	17	—
店舗閉鎖損失	0	—
特別損失合計	529	4
税金等調整前四半期純利益	1,895	2,655
法人税等	811	1,123
四半期純利益	1,083	1,531

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
四半期純利益	1,083	1,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	125
為替換算調整勘定	73	△34
その他の包括利益合計	244	90
四半期包括利益	1,327	1,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,327	1,622

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,895	2,655
減価償却費	433	375
減損損失	490	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△231	302
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	98	158
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△799	△24
受取利息及び受取配当金	△21	△35
支払利息	0	6
売上債権の増減額 (△は増加)	1,445	3,599
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,620	842
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,320	△3,136
前受金の増減額 (△は減少)	△622	333
その他	△115	△651
小計	△1,124	4,425
利息及び配当金の受取額	22	30
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△987	△1,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,090	3,163
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△270	△146
有形固定資産の売却による収入	123	1
無形固定資産の取得による支出	△125	△317
投資有価証券の取得による支出	△111	△7
投資有価証券の売却による収入	277	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	5,143
その他	21	△137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84	4,536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	58
配当金の支払額	△555	△884
自己株式の取得による支出	△1	-
その他	△75	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△631	△902
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	△11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,777	6,786
現金及び現金同等物の期首残高	11,040	9,081
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,262	15,868

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,682	240	1,104	48,027	—	48,027
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2	7	14	24	△24	—
計	46,685	247	1,118	48,052	△24	48,027
セグメント利益	2,062	69	190	2,322	△48	2,274

（注）1. セグメント利益の調整額△48百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ディスプレイ事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が保有する土地について売却を予定していたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（38百万円）として特別損失に計上しております。

「不動産事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社が保有する土地・建物について収益性の低下による減損の兆候が認められたため、その認識・測定をおこなった結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失（452百万円）として特別損失に計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,199	1,247	51,446	—	51,446
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2	9	11	△11	—
計	50,201	1,256	51,458	△11	51,446
セグメント利益	2,348	195	2,543	△36	2,507

（注）1. セグメント利益の調整額△36百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、㈱乃村リテールアセットマネジメントの全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。これにともない、第1四半期連結会計期間より報告セグメントは、ディスプレイ事業および飲食・物販事業となっております。

4. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	20,488	21,213
百貨店・量販店市場	2,952	3,036
複合商業施設市場	3,587	4,342
広報・販売促進市場	6,972	8,845
博物館・美術館市場	3,076	3,718
余暇施設市場	4,205	3,785
博覧会・イベント市場	313	216
その他市場	3,615	4,140
ディスプレイ事業 小計	45,211	49,300
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	45,211	49,300

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 生産高の金額は販売価格によっております。

3 不動産事業については第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第2四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	19,993	7,510	22,622	10,102
百貨店・量販店市場	3,392	1,308	3,166	1,486
複合商業施設市場	2,353	2,269	4,598	3,317
広報・販売促進市場	9,086	6,869	9,046	6,064
博物館・美術館市場	6,312	5,751	6,012	6,368
余暇施設市場	2,862	3,210	2,502	1,446
博覧会・イベント市場	243	245	313	183
その他市場	3,216	3,060	3,136	2,263
ディスプレイ事業 小計	47,460	30,226	51,399	31,233
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	47,460	30,226	51,399	31,233

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 不動産事業については第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第2四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	20,758	21,912
百貨店・量販店市場	3,062	3,180
複合商業施設市場	4,479	3,902
広報・販売促進市場	7,201	7,466
博物館・美術館市場	3,107	3,969
余暇施設市場	4,319	4,310
博覧会・イベント市場	348	278
その他市場	3,406	5,179
ディスプレイ事業 小計	46,682	50,199
(不動産事業)	240	—
(飲食・物販事業)	1,104	1,247
合計	48,027	51,446

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別 (ディスプレイ事業は制作品別) の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	17,921	20,707
展示制作	8,538	10,802
環境演出制作	1,513	2,313
販促品制作	373	998
企画・設計・監理	4,432	4,059
その他	12,432	10,419
ディスプレイ事業 小計	45,211	49,300
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	45,211	49,300

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 不動産事業については第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第2四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	15,784	10,641	19,415	10,555
展示制作	11,408	8,478	11,255	8,048
環境演出制作	1,655	1,112	1,399	834
販促品制作	391	88	2,006	1,320
企画・設計・監理	4,672	4,650	5,422	5,870
その他	13,549	5,253	11,900	4,604
ディスプレイ事業 小計	47,460	30,226	51,399	31,233
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	47,460	30,226	51,399	31,233

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 不動産事業については第1四半期連結会計期間よりセグメントから除外しております。なお、前第2四半期連結累計期間における不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	19,376	22,506
展示制作	8,265	10,162
環境演出制作	1,558	2,349
販促品制作	318	725
企画・設計・監理	4,764	3,261
その他	12,399	11,192
ディスプレイ事業 小計	46,682	50,199
(不動産事業)	240	—
(飲食・物販事業)	1,104	1,247
合計	48,027	51,446

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。